

本部長年頭の挨拶



宮城県警察本部長
杉本 伸正

新年明けましておめでとうございます。
宮城県交通安全協会の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。皆様には、平素から警察行政各般にわたり、深い御理解と多大な御協力を賜っておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。また、貴協会が関係機関・団体の先頭に立って、交通安全活動に取り組まれていることに対しまして、心より感謝申し上げます。さて、県内の交通事故情勢につきましては、

昨年、「第11次宮城県交通安全計画」の最終年度であり、交通事故発生件数は、現行の統計方法になって初めて4,000件を下回った一昨年とほぼ同様の水準となり、大きな成果があった1年となりました。

この「交通安全計画」は、昭和46年度以降、11次・55年にわたり、貴協会をはじめ関係機関・団体等が交通安全対策を強力に実施してきたもので、その結果、昭和47年に県内で295人が交通事故で死亡し、「交通戦争」と呼ばれた時期と比較すると、第11次宮城県交通安全計画期間の平均は、約45人と6分の1以下にまで減少しました。これもひとえに、貴協会皆様の御尽力のたまものであると考えております。

今年は、「第12次宮城県交通安全計画」の初年度です。高齢者や歩行者が関係する交通事故や飲酒運転等の悪質性、危険性の高い違反による重大事故が後を絶たず、依然として厳しい状況が続いておりますが、県警察といたしましては、引き続き貴協会をはじめ関係機関・団体と緊密な連携を図り、交通事故分析に基づく先行的な諸対策、年齢等の発達段階や通行の態様に応じた体系的な交通安全教育、交通実態を踏まえた交通環境の整備、悪質性・危険性の高い違反に重点を置いた取締りを推進してまいります。

皆様におかれましても、引き続き各地域、職域における交通安全活動に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、宮城県交通安全協会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

知事年頭の挨拶



宮城県知事
村井 嘉浩

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるに当たり、宮城県交通安全協会の更なる御発展と会員の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。また、貴協会が交通安全に携わる関係機関・団体の先頭に立って、地域に根差した交通安全活動に真摯に取り組まれていることに対しまして心より感謝申し上げます。

さて、昨年の県内における交通情勢につきましては、人身事故発生件数や死傷者数ともに一昨年より減少傾向で推移しているところであります。

これもひとえに、皆様が目頃から交通安全活動に懸命に取り組んでこられた賜であり、深く敬意を表するところであります。

県では、令和3年度に策定された「第11次宮城県交通安全計画」に基づき、令和7年までに、交通事故死者数を44人以下、重傷者数を510人以下、死傷者数を5,300人以下にすることを目標として交通安全対策を推進してまいりましたが、今年は、これまでの対策を踏まえつつ、令和12年度までの交通安全対策の指針となる「第12次宮城県交通安全計画」を策定することとしております。

今年は、自転車の交通違反に対する青切符の導入、生活道路における法定速度の引き下げなど、近年の交通情勢を踏まえた改正道路交通法等が施行されることから、自転車や小型モビリティの安全利用、生活道路における交通安全対策の推進など、交通事故のない社会を目指すための対策をさらに推進してまいりたいと考えております。

安全で快適な交通社会を実現するためには、運転者のみならず、歩行者や自転車利用者等全ての道路利用者に対する交通安全対策のたゆまぬ努力が必要です。

県といたしましては、市町村や関係機関・団体の皆様との緊密な連携の下、引き続き高齢者の事故防止や飲酒運転の根絶をはじめとした交通安全県民運動に取り組むとともに、道路交通環境の整備など、総合的に交通事故抑止対策を推進してまいりますので、今後とも、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

入院見舞金・死亡弔慰金制度

会員特典

会員の方が

- 自動車・二輪車を運転中又は同乗中
- 自転車乗車中又は歩行中の事故で
- 30日以上入院治療
- 40日以内に死亡した場合に

見舞金又は弔慰金が支払われます
詳しくは各地区交通安全協会にお問い合わせください。



交通安全協会協賛店制度

会員特典

暮らし・レジャーに県内200社(店)を越える協賛店のお得な割引や特典サービスが受けられます。

- ホテル・旅館宿泊費の10%割引
- レンタカー・運転代行料金の10%割引
- 自動車修理工賃の10%割引
- ガソリンスタンドの給油料金が会員価格やタイヤ購入で10%割引
- 各種協賛店での10%・20%割引などの特典があります。

▲このステッカーが目印です。



みやぎ・交通メモ

- 県内の車両保有台数 (令和7年10月末現在) 1,634,858台 (二輪以下は含みません)
- 県内の運転免許人口 (令和7年10月末現在) 1,529,506人 (男性818,843人・女性710,663人)
- 県内の交通事故 (令和7年11月末現在)
 - 人身事故 3,319件 (-79件)
 - 死者数 36人 (-8人)
 - 負傷者数 4,038人 (-71人)

※()内は前年同期比です。件数、負傷者数は概数です。

迎春

安心 親切 丁寧 な教習

宮城県交通安全協会 直営

みやぎ自動車学校

会員とご家族の免許取得は、普通車・自動二輪車の基本講習料金(税込、検定料金を除く)の6%割引をしております。

※ただし、カード支払い及び学割制との重複優遇は適用いたしません。

仙台市太白区東郡山一丁目 10-1

TEL 022-248-1104

FAX 0120-380-717

「オンライン学科教習」実施中!!

宮城自動車学校 検索





ご功労の軌跡を讃える 交通栄誉章等表彰



本県から次の方が交通栄誉章等を受章されることになりました。(敬称略)
表彰式は令和8年1月14日(水)文京シビックホール(東京)で開催される第66回
交通安全国民運動中央大会において執り行われます。

賞状

- 交通安全優良団体
遠田地区交通安全協会南郷支部
- 交通安全優良事業所
株式会社東北三之橋
東北特殊工業株式会社
- 交通安全優良学校
宮城県多賀城高等学校
- 優良交通安全協会
白石地区交通安全協会
- 優良安全運転管理者協議会
角田地区安全運転管理者会

緑十字金章

- 交通安全功労者
三浦 忠(泉地区)
鹿野 孝(玉造地区)
- 優良運転者
大黒 昭夫(栗原地区)

緑十字銀章

- 交通安全功労者
竹田 隆(仙台中央地区)
今野 榮悦(南三陸地区)
藤谷 廣司(南三陸地区)
中澤 賛(古川地区)
阿部 勲(玉造地区)
早坂 栄夫(加美地区)
- 優良安全運転管理者
鈴木 聡(石巻地区)
- 優良運転者
金野 茂(石巻地区)
千葉 幸弘(登米地区)
鈴木 浩(河北地区)

令和7年度 交通安全功労者等表彰



県内の交通安全活動に貢献され、交通安全功労者等として表彰された個人や団体は次のとおりです。
表彰式は、宮城県警察本部と宮城県交通安全協会の主催で令和7年11月7日(金)に執り行われました。

宮城県警察本部長・宮城県交通安全協会会長 連名表彰

- 交通安全功労者……………28名
- 一般優良運転者
交通栄誉金賞……………26名
交通栄誉銀賞……………34名
交通金賞……………23名
- 交通安全功労団体
優良地区交通安全協会……………4団体

宮城県警察本部長・宮城県交通安全協会会長連名 感謝状

- 交通安全功労団体……………6団体
- 交通安全優良学校……………4校

宮城県警察本部長・宮城県交通安全協会会長・ 運送事業団体長連名表彰

- 交通栄誉銀賞……………1名
- 交通金章……………2名

東北管区警察局長・東北交通安全協会会長連名表彰

- 交通安全功労者……………25名
- 優良運転者……………15名
- 交通安全功労団体……………2団体
- 交通安全優良学校……………4校

全日本交通安全協会会長表彰交通栄誉章(緑十字銅章)

- 交通安全功労者……………31名
- 優良運転者……………23名

交通栄誉章緑十字銅章(優良運転者)受賞者 配偶者に対する感謝状

- 優良運転者配偶者……………16名



小野寺 篤朗氏

交通安全功績で藍綬褒章受章

令和7年秋の褒章で、当協会理事(佐沼地区交通安全協会会長)の小野寺篤朗氏が受章しました。
多年に渡り地区交通安全協会会長として交通安全活動を推進するとともに、当協会理事として、
全県的視野に立ち交通安全思想の普及・啓発などにご尽力されています。

自転車事故の高額賠償への備え

全日本交通安全協会の
自転車利用者向け保険
サイクル安心保険

1ヶ月あたり
約140円で
はじめる安心

Web申込
Web申込
Web申込

自転車会員になって「サイクル安心保険」を

●詳しくは **利用しましよ**

全日本交通安全協会 自転車会員 検索

または **コールセンター**

☎03-4590-1519

TSMマーク

まずはお近くの
自転車安全整備店へ

自転車の点検・整備(有料)時に
貼付され、保険が付帯されます。
(1年間有効)

| 種類 | 傷害補償 | 賠償責任補償 | 被害者見舞金 |
|--|--|--|---|
| 点検整備済 賠償責任・傷害補償付 【1年間有効】 自転車安全整備士番号 | ●死亡・重度後遺障害 (1~4級) 一律50万円 | ●死亡・障害 (すべての人身事故) 限度額 1億円 | ●賠償責任 補償により 対応 |
| | ●入院15日以上の傷害 一律5万円 | ※示談交渉サービス付き | |
| 点検整備済 賠償責任・傷害補償付 【1年間有効】 自転車安全整備士番号 | ●死亡・重度後遺障害 (1~4級) 一律100万円 | ●死亡・重度 後遺障害 (1~7級) 限度額 1億円 | ●入院 15日以上 の傷害 一律 10万円 |
| | ●入院15日以上の傷害 一律10万円 | | |

●自転車事故保障コース A・B・C

ご家族全員の自転車事故+日常生活に起因した
賠償事故による賠償責任最高1億円
の補償と示談交渉を行います。

●プランBは個人の死亡・後遺傷害保険、入院保険が付随します
●プランCは個人と家族の死亡・後遺傷害保険、入院保険が付随します

| プラン | プランA 賠償のみのプラン | プランB 賠償+個人補償 | プランC 賠償+個人+家族補償 |
|-------------|--------------------------|--------------------|------------------------|
| 賠償責任 | 保険金額1億円+示談交渉サービス(家族全員対象) | — | — |
| 死亡・ 後遺障害 | 本人 50万円 家族 — | 本人 1,000万円 家族 — | 本人 1,000万円 家族 850万円 |
| 入院 (日額) | 本人 — 家族 — | 本人 3,000円 家族 — | 本人 6,000円 家族 6,000円 |
| 掛け金 (年額) | Web申込 1,770円 | Web申込 2,770円 | Web申込 4,660円 |
| 郵送 | 1,970円 | 2,970円 | 4,860円 |

●交通傷害ワイド補償コース D・E・F

ご家族全員の自転車事故+日常生活に起因した
賠償事故の賠償責任最高3億円
の補償と示談交渉を行います。

| プラン | プランD 基本のワイドプラン | プランE 個人向けワイドプラン | プランF 家族向けワイドプラン |
|-------------|--------------------------|----------------------|----------------------|
| 賠償責任 | 保険金額3億円+示談交渉サービス(家族全員対象) | — | — |
| 死亡・ 後遺障害 | 本人 50万円 家族 — | 本人 500万円 家族 — | 本人 500万円 家族 300万円 |
| 入院 (日額) | 本人 — 家族 — | 本人 6,000円 (上限無制限) | 本人 6,000円 (上限無制限) |
| 掛け金 (年額) | Web申込 2,000円 | Web申込 3,800円 | Web申込 5,870円 |
| 郵送 | 2,200円 | 4,000円 | 6,070円 |

●手術保険金は入院中の手術60,000円、外来の手術30,000円です。



SDGs宣言

一般社団法人宮城県交通安全協会では、交通事故のない
安全で安心な地域社会の実現に向けた取組みを実施し、
将来を見据えた地域への貢献活動を展開します。



交通安全協会の活動等を広く紹介…

宮城県交通安全協会では、多くの方々に協会へのご理解とご協力をいただくため、
X(旧ツイッター)により、県内の交通安全に関する行事やイベントをはじめ、交通安全
協会の活動、入会費の活用内容、入会した方の特典等を随時紹介しています。



ドライバーのみなさん...

あなたの地域の交通安全を支えるのはあなたです

交通安全協会の活動

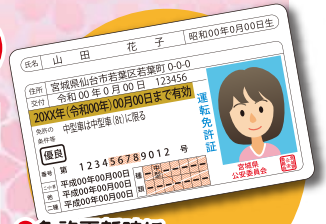
- 交通安全活動**
- 子供と高齢者を交通事故から守る運動
 - シートベルト・チャイルドシートの着用運動
 - 飲酒運転根絶運動
 - 春・夏・秋・年末の交通安全運動
 - マナーアップみやぎ運動 など

交通安全教育

交通安全広報

優良運転者等表彰

会費 / 1年間につき500円



●免許更新時に
交通安全協会へのご加入をお願いします



交通安全ランドセルカバー・黄色い帽子等は、交通安全協会会員皆様の会費で、各地区の新入学児童に贈られています。

交通安全運動 各地区協会の活動レポート

仙台中央地区



飲酒運転根絶決起大会を開催し、飲酒運転の根絶を呼びかけた。

仙台南地区



「飲酒運転根絶運動の日」に横断幕、のぼり旗等を掲げ、飲酒運転撲滅を呼びかけた。

仙台東地区



国道45号において、のぼり旗等を掲げて通行車両に交通事故防止を呼びかけた。

泉地区



「自転車交通安全の日」に、国道4号仙台バイパスにおいて高校生等の自転車利用者にヘルメット着用を呼びかけた。

塩釜地区



三市三町高齢者交通安全大会(体験型交通安全セミナー)を開催し、交通安全に対する意識を高めた。

佐沼地区



毎戸訪問より反射材タスキ、チラシ、ティッシュ等を配布し、夕暮れ時の交通事故防止を呼びかけた。

河北地区



他団体と合同で国道45号においてハンドボードを掲げ、通行車両の運転者に安全運転を訴えた。

古川地区



国道4号の主要交差点において、交通安全関係団体合同による交通事故防止街頭キャンペーンを実施した。

黒川地区



秋の交通安全運動中のキャンペーンとして、股旅姿で通行車両の運転者に安全運転を呼びかけた。

加美地区



お盆で故郷に帰省する自動車利用者等が増加する時期を捉え、チラシ等を配布して安全運転を呼びかけた。

名取地区



「2025年とり秋祭り」会場において、来場者に対しチラシ等を配布しながら交通事故防止を呼びかけた。

白石地区



「みやぎ・ふくしま県境作戦」を開催し、ドライバーに安全運転を呼びかけた。